

**RELOCLUB 全日本企業対抗ゴルフトーナメント  
ワールドコーポレートゴルフチャレンジ2020日本代表決定戦  
～ 競技方法 ～**

競技方法<18ホールズ・ストロークプレー、ステーブルフォード(ポイントターニー方式)>

1. 2人1組のチーム戦とし、18ホールズ・ストロークプレー、ステーブルフォード(ポイントターニー方式)で行う。
2. 自チーム2名と他チーム2名が組み合わせてプレーする。

3. 2人の競技者はそれぞれの球をプレーし、2人のポイントを合計してチームポイントとする。

<ステーブルフォード(ポイントターニー)の計算方法>

プレーヤーのすでに行ったストローク数(罰打を含む)と、そのホールの決められた目標スコアとを対比することにより各ホールにポイントが与えられる。

決められた目標スコアに関連して獲得できるポイントは下記の通り。

|     |   |
|-----|---|
| 0点  | = プレーしたホールで ポイント決められた目標スコアより2打以上多いか、スコアの申告がないとき |
| 1点  | = 決められた目標スコアより1打多いとき                            |
| 2点  | = 決められた目標スコアと同じとき                               |
| 5点  | = 決められた目標スコアより1打少ないとき                           |
| 10点 | = 決められた目標スコアより2打少ないとき                           |
| 15点 | = 決められた目標スコアより3打少ないとき                           |

例) ボギー:1点、パー:2点、バーディ:5点、イーグル:10点、アルバトロス:15点

4. 同じチーム内であれば、任意の打順でプレーすることができる。  
※使用するティーイングエリアによって打順が決定する場合がある。
5. 乗用カートプレーの会場では乗用カートへの乗車を認める。
6. プレーヤーは同じチーム内のパートナー及びキャディがいる場合はキャディからアドバイスを受けることができる。  
なお、他のチームのプレーヤーにアドバイスを与えたり、あるいはアドバイスを求めた場合には規則10によりそのホールに2罰打を付加する。  
プレーヤーのパートナーは、規則10.2bに基づいてプレーヤーのキャディがとることのできる行動(同じ制限がある)と同じ行動をとることができる。
7. 上記以外の事項はJGAゴルフ規則21に基づくものとする。
8. タイポイント時の決勝方法  
スタートコースに関わらず、18番(最終)ホールよりカウントバックによるチーム合計ポイントで決めます。  
※ それでも勝敗が決しない場合は同順位とする。
9. 険悪な気象条件・日没などのため、競技が短縮競技となった場合の順位決定
  - ・ 全チームが9ホールズを消化している場合→競技成立
  - ・ 全チームが9ホールズを消化していない場合→競技不成立
  - ・ 本競技が短縮競技として成立した場合、下記の順でその順位を決定する。
  - ・ スタートコースに関わらず、最終ホールよりカウントバックによるチーム合計ポイントで決めます。
  - ・ それでも勝敗が決しない場合は同順位とする。
 ※ 短縮競技でも、エントリーフィーやプレーフィーの減額は有りませんのでご了承ください。
10. 全国決勝が競技不成立になった場合  
険悪な気象条件で競技不成立と判断された場合、改めて日程を定め、開催する。

RELOCLUB 全日本企業対抗ゴルフトーナメント  
ワールドコーポレートゴルフチャレンジ2020日本代表決定戦  
～ 大会ルール ～  
(全予選・全国決勝大会共通)

1. ゴルフ規則

大会ルール及び日本ゴルフ協会(JGA)ゴルフ規則を適用する。

※状況により、ゴルフ場ローカルルールを優先する場合がある。

2. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について競技委員会の裁定を最終とする。

3. 使用球についての規格及び規則

R&A公認球リストを採用する。ワンボール条件は適用しない。

4. ドライビングクラブ

競技者のドライバーはJGAの適合ドライバーリストに掲載されたクラブヘッドとする。この条件の違反の罰は、競技失格。

※新溝規定は適用しない。

5. 距離計測機器

距離計測機器の使用を認める。(種類不問)

6. ホールとホールの間での練習禁止

競技者は、プレーを終えたばかりのホールのグリーン上や、その近くでは練習ストロークしてはならない。

これに違反して練習ストロークをした場合、競技者は次のホールに2罰打を加えなければならない。

ただし、そのラウンドの最終ホールときは、そのホールに2罰打を加える。

(前半と後半のインターバル時の、指定練習グリーンでのパッティング練習を除く)

7. 特設ティー、ドロップエリアの使用について

特設ティー及びドロップエリアの使用は、各会場のローカルルールで定める。

なお、特設ティーでは球をドロップしてプレー再開しなければならない。

8. プレーの一時中断と再開

(1) プレーの一時中断(落雷などの危険を伴わない状況)については、ゴルフ規則5.7a、b、c、dに従って処置すること。

(2) 陰悪な気象状況にあるため、競技委員会の決定によりプレーが即時中断となった場合、すべてのプレーヤーが直ちにプレーを止めなければならない、競技委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。

通常の中断の場合、その組のすべてのプレーヤーがホールとホールの間にいる場合、プレーヤーたちはプレーを止めなければならない、競技委員会よりプレー再開の指示が出るまで別のホールを始めるストロークをしてはならない。

ホールのプレー中であつたときは、プレーヤーはプレーを止めるか、そのホールを終了するか選択することができる。

プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、ゴルフ規則20.2に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは競技失格とする。(ゴルフ規則5.7bの違反)

(3) プレーの一時中断と再開の合図について

通常の中断: カートに搭載した連絡装置で連絡。(キャディがいる場合は、キャディ経由して連絡。)

陰悪な気象状況による即時中断: カートに搭載した連絡装置で連絡。(キャディがいる場合は、キャディ経由して連絡。)

プレーの再開: カートに搭載した連絡装置で連絡。(キャディがいる場合は、キャディ経由して連絡。)

※その他状況により連絡方法が異なる場合がある。

## 9. 競技委員会のプレーのペースの方針

プレーヤーは、ホールでのプレー中、またはホールとホールとの間のいずれでもプレーを不当に遅らせてはならない。(ゴルフ規則5.6a)  
速やかなプレーの推奨と実行のため、当競技委員会はプレーのペースの方針を設定する。(ゴルフ規則5.6b(3))

① 組の全選手に1打付加。

- ・ その日のトップスタートの組は、前半のハーフプレーの規定時間より20分以上越えた場合、前半最終ホールのスコアに加える。
- ・ 前の組と20分以上離れているのに急ぐ気配がない場合、又は前半のハーフプレーの規定時間より20分以上越えた場合、当該ホール又は前半最終ホールのスコアに加える。

※1 規定時間とは、当該ゴルフ場のハーフプレー時間を指す。

※2 時間の確認は、競技委員会が確認した時間を指す。

- 1) 前半終了後、アテスト会場に中間スコアシートを提出した時
- 2) プレー終了後、組が戻ってきたことが確認できた時

② 2回目の違反:組の全選手に2打付加。

③ 3回目の違反:組の全選手は競技失格。

※プレーヤーは次のような特定の理由のために、少しの遅れが認められる場合がある。

- ・ プレーヤーが競技委員会に援助を求めている場合。
- ・ プレーヤーが怪我をしたり、病気になった場合。
- ・ 別の正当な理由がある場合。

10. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、スタートに掲示し告示する。

2019年11月7日

ワールドコーポレートゴルフチャレンジ2020日本代表決定戦  
競技委員会